

VOL.
06with **LIFE**

MaaSはこれからどこへ向かうのか？ —モビリティ革命が生み出す新たな市場—

サービスとしてのモビリティを提供し、新しいライフスタイルを創出しながら持続可能な社会を構築していこうという概念から生まれた次世代の交通サービス「MaaS」。日本ではまだポピュラーには至ってはいません。しかし近年、政府がMaaSに関する法令の整備や政策立案などMaaSを推進する動きが加速しています。

MaaSはサービスの分野だけでなく、モビリティイノベーション（新技術）の分野でも自動車の自動運転の実現化を促進し、自動車を

「所有」から「利用」という新しい価値観を生みだしました。「100年に一度」のモビリティ革命と呼ばれるMaaSの出現は、今後市場にどんな産業インパクトをもたらすのでしょうか？

これはあくまでも仮定の話ですが、MaaSというモビリティ革命によって全世界で新車の販売数が10分の1まで縮小し、一方で現在1000億人ほどと言われているマイカー以外で移動する人たちは3倍に増えるという試算があるそうです。これは3000億人というモビリ

ティ事業の新たなターゲットユーザーが生まれることを示します。つまり、自動車会社の市場規模に匹敵するくらいの市場が、モビリティを利用することで生まれるかもしれないのです。

渦中にある自動車業界の中で、モビリティ革命をどう捉えるかはとても重要なことです。その変容をイメージしながら、自社と仲間たちが果たす5年後、10年後の役割を創出することができれば、100年に一度のモビリティ革命を乗り切れるに違いありません。

This season's
pickup!

見えないところで進行するサビから 防錆剤で守れるアンダーボディ。



愛車の"底"、知っていますか？

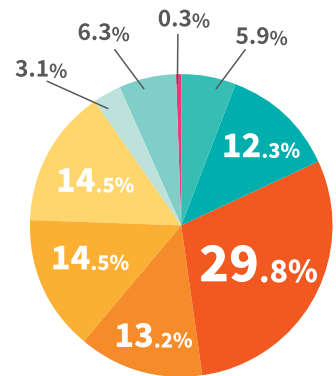
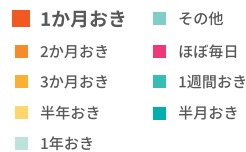
まさに酷暑となった夏。秋はそんな夏だったからこそ丁寧なケアをするチャンス！沿岸部の道路には、潮風などにより常に塩分が付着しているため、海沿いをドライブした愛車の底はサビの進行が始まっているかもしれません。特に雨天時は、塩分が溶けて下部底面に大量に付着してしまいます。

冬が来る前の今、サビ対策を。

道路に塩分が付着するのは沿岸部だけではありません。冬になると高速道路や降雪地の道路には、塩分を含んだ融雪剤が撒かれます。

サビの進行を防ぐには日頃の洗車とケアが重要になりますが、右のように頻度はそう多くないのも事実。寒い冬の洗車は更に避けられてしまうでしょう。

毎日洗う？ 一切洗わない？
JAF会員の洗車頻度は？



※出典元:洗車事情を大調査 | みんなの本音を大調査! JAFMate総研 | JAF Mate Online
https://jafmate.jp/lifestyle/jafmatesouken_20221003.html



イチ推し

メンテナンス

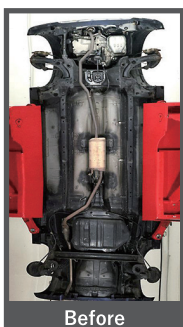
ATTENTION!

凍結防止剤・潮風・塩水からアンダーボディを守る。
愛車の価値をサビ付かせない。

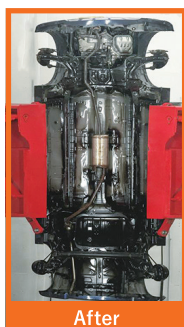
CROSS PRO Line

ボディ・アンダークリアコート

施工イメージ



Before



After

長く大切に乗りたい
ユーザーにオススメ。

反応型のクリア防錆被膜で仕上がりがクリアーなので、コーティング後も足回りやアルミ部品は綺麗なまま！施工前のマスキングや凍結防止剤を除去する前洗浄は不要で、乾燥時間も短く、作業も簡単とターゲットが明確となります。また、車検・タイヤ交換・オイル交換などあらゆる入庫シーンで施工が可能です。

アルミへの施工も可能！

サビの原因となる凍結防止剤(塩化カルシウム)や潮風(塩化ナトリウム)と反応し、金属石けん防止被膜を形成。アルミへの施工可能で、可動部や加熱部、マフラー等の排気系統を気にせず塗布が可能なことや、錆肌のベンチレーターへのサビ保護を含め、各パネル合わせ面等に浸透し優れた防錆効果を発揮します。